

## PTA に変わる組織に 2・・・

2025年 12月5日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

前号では、「くすのきリーダー会」の中で活動する保護者ボランティアの活動を紹介しました。さらに「くすのきリーダー会」では、どのような活動をしているかを紹介していきます。

PTA ではなく「くすのきリーダー会」としていくと、今まで行っていた PTA の委員会活動と地域の方々のボランティア活動を一つにすることが可能となります。こうすることによって、子どもが卒業をしても学校支援のボランティア活動を継続していくことができます。実際に現在の「くすのきリーダー会」に属している地域の方々は、富勢小の元 PTA 役員や富勢小の卒業生という方々が入って組織されています。つまり、PTA をきっかけにして地域ボランティアグループの組織化につなげていくという狙いもあります。それは、CS の目標の一つに、「学校を核とした地域再創生」ということが人口減少時代の日本の課題解決方法の一つとして掲げられているからです。さて、地域の方々のボランティアとしてどのような活動が行われているか、紹介していきます。

まず、民生委員さんを中心に「〇つけボランティア」の方々が週 2 回活動して、宿題や家庭学習などの〇つけをしてくださっています。子どもたちの学習状況については守秘義務を交わして作業をいただいています。また、登下校の見守りボランティアとしては、「くすのき隊」「布施新田くすのき隊」とふたつの見守りボランティアグループが毎朝の登校見守りをしてくださっています。

学習に関わるボランティアとして、「ふせランナー」というボランティアがあります。これは、全国の学校に義務付けられている「キャリアパスポート」（子どもたちが自らの心や学びの成長を記録していくシート）を記入する際に、寄り添いながら話を聞いたり、子ども自身の考えを認めたりする役割で、授業に関わるボランティアです。このボランティアを行うためには、キャリアコンサルタントの資格を取得している方（間野氏＝元土小保護者）の講座を 3 回受講していただき、校長の認定を受けて活動していただきます。現在は 4 名の方が登録されていますが、実際には人数が足りず、前任の土小学校の保護者の方で資格取得をされている方のご協力をいただき行っています。ボランティアの方の関わりが、子どもの肯定感を高めキャリアパスポートの意味を高めていくこととなります。是非、保護者の皆さまの中からも「ふせランナー」になっていただきたいと思います。「ふせランナー」の方は子どもたちの活動に寄り添う度に、自分自身が学びになるとおっしゃりますし、各担任も 1 時間の間に子どもたち一人一人に寄り添い話を聞くことは難しいので、大変有意義であると感謝しております。今回は地域ボランティアの方々の活動を紹介し、新たな方の募集にもつながりたいとの思いをお伝えします。